

オープンカフェ事業について

オリオン通り商店街の店舗前を道路占有し希望店舗にテーブル、イス、パラソルを貸し出ししている。

午前 11 時から 0 時までの利用のために軽量で簡易に出し入れできるものになっている。飲食店の食事スペースとしても利用ができるよう配慮している。

都市再整備計画によりこれを可能とした。

また、アーケード内は自転車を降りて押しチャリの推進を啓発し周知している。

《今後委員会にどのように生かしていくか》

町にとって必要な物は人が集うことである、人が集いそして商圈が確立し利便性が向上し住まいやすくなる、だから町が活性化するのであろう。

今回視察した宇都宮市では従来からの生活用品中心の商店街から脱皮をするきっかけや、構造を学ぶことが出来た。空き店舗を貸し店舗に変換する事で後継者を誘発しそこに新たな購買力を生む事につなげている。現在の二宮町の商店街の多くは住居と一緒にいるためにトイレや入り口を分離しにくい構造のため町の補助金など対策が講じられれば貸し店舗として変換する余地も考えられる。また、二宮町では商店街が複数に分かれて存在するため一体としての取り組みが進めにくく集中して大きなテーマを作り上げようとするエネルギーの集中が難しいのかもしれない。テーマ作りのためにも吾妻山の更なる開発、吾妻山物語の推進、メディア戦略、Wifi 環境の向上、芸術性の向上、花鑑賞、インスタグラム反映を考えるなど、今ある資源に付加価値をつけて新しい魅力の発信と山西小学校方面からの道路整備で交通環境を整えるなど救急、障がい者、高齢者にも優しいインフラ整備も検討の課題となり得る。今後は観光を盛り上げ産業振興につながる町づくりをテーマに研究を重ねていく。